

愛知県青少年育成県民会議だより

Next Generation

次代

第140号 2015.10



第46回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者のみなさん

CONTENTS

表紙	第46回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者	1
私の意見	- 「人」としての成長 -	2
青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動		3
平成27年度少年の主張愛知県大会の開催		4
最優秀賞作品紹介「あなたの笑顔を見るために」		5
新会員団体の活動紹介		6
第46回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者名簿		7
保護者のための体験！体感！スマホ教室		7
青少年によい本をすすめる県民運動 読書感想文募集案内		8
子ども・若者育成支援県民運動強調月間		8
編集後記		8

**育てよう
自分に勝てる子
負けない子**

私の意見 - 「人」としての成長 -

和太鼓「嚶鳴座」指導者 坂 知也

私は、東海市立青少年センターで活動している和太鼓「嚶鳴座」の指導者として青少年に和太鼓の指導をしています。

和太鼓「嚶鳴座」は、東海市内の青少年たちによる伝統文化の創造を目的として発足した和太鼓・合唱・演劇・ダンスの四つの団体からなる「嚶鳴四座」の中の和太鼓団体です。私は、平成12年度の和太鼓「嚶鳴座」の立ち上げのときからのメンバーであり、これまで、主に市や地域のコミュニティ主催のイベントにおける演奏の機会を年間で20回程度いただき、地域に根ざした活動をさせていただいております。

指導の傍ら、和太鼓の演者としての活動にも参加しており、指導者として必要な和太鼓の技芸の研鑽も、怠ることのないよう心がけております。



■ 和太鼓の指導を通じて感じたこと ■

和太鼓の指導を通じて、技術面だけでなく、「人」として成長することが大切であると感じました。

練習や演奏会の際に、集合時間等を厳守することや、準備や後片付けに迅速に取り組むこと、挨拶等の礼儀の面等、嚶鳴座を指導者として客観的に観ることで、はじめて気付かされたことがありました。

私は、そういった部分についても、メンバーに対して常々指導をしています。メンバーには、和太鼓の技術面以外の指導を通じて、「人」として必要な礼儀や協調性、社会性を身に付けてほしいと思います。

また、様々な方々に支えられて、和太鼓「嚶鳴座」が成り立っているということも感じました。

指導者として和太鼓「嚶鳴座」の運営に携わることで、練習場所や出演機会に関する打ち合わせに参加するようになり、運営に様々な人が関わり、御支援をいただいているということをはじめて知りました。



■ 今後の抱負 ■

私は、和太鼓「嚶鳴座」に和太鼓の演奏技術を指導するだけでなく、次世代の指導者を育成することが、指導者としての課題だと考えております。現在、そのための取り組みをいくつか行っています。

例えば、和太鼓「嚶鳴座」が小学生を対象に和太鼓体験教室を開催する機会がありますが、私がメンバーの前で小学生への指導を行い、「人に教える」ということのノウハウを示しています。和太鼓「嚶鳴座」のメンバーにも、そこでの小学生への直接の指導をさせることもあります。



日々の指導に加えて、このような取り組みを通じて、心・技・体が揃った次世代の指導者となる青少年を育成していくことを今後の抱負としています。

これからも、和太鼓「嚶鳴座」での指導を通じて、メンバーと共に、私自身の和太鼓の技術を磨き、「人」として成長していきたいと思っております。

「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動(夏期)」を実施しました ～「非行の芽 はやめにつもう みな我が子」～

愛知県と愛知県青少年育成県民会議では、青少年が有害環境等に接する機会が多くなる夏休み期間に合わせて、平成27年7月1日(水)から平成27年8月31日(月)までの間を「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動」の夏期強調期間と定め、青少年の非行・被害防止のための広報啓発活動、各種の運動を集中的に実施しました。

この運動の一環として、「JKビジネス」(女子高生を「JK」と称して商品化し、その性を売り物とする営業形態)に起因する青少年の性犯罪被害の未然防止を図るため、青少年に有害な「JKビジネス」を包括的に規制する全国初の青少年保護育成条例の改正条例が7月1日から施行されることに伴い、青少年やその保護者、県民に対して、「JKビジネス」に従事することの危険性について広く周知・啓発するため、愛知県、愛知県警察本部、愛知県教育委員会、愛知県青少年育成県民会議の共催で、東海地方を活動拠点とする男性ユニット「BOYS AND MEN」を招いて、青少年団体関係者、女性団体関係者、市町村青少年担当者、少年センター関係者、教育関係者、行政関係者など約150名により、次の活動を実施しました。

<日 時> 平成27年6月30日 (火)

時 間	行 事 名	場 所
16:00 ～ 16:30	「NO! JK ビジネス」キャンペーン出発式 ○知事、BOYS AND MEN 等によるトークイベント ○非行防止標語の唱和 ・非行の芽 はやめにつもう みな我が子 ・青少年には、「NO! JK ビジネス」	愛知県庁
17:00 ～ 17:30	中警察署主催による「NO! JK ビジネス」キャンペーンイベント ○知事、BOYS AND MEN 等によるトークイベント ○啓発物品の配布	中日ビル
18:00 ～ 18:30	中村警察署主催による「NO! JK ビジネス」キャンペーンイベント ○知事、BOYS AND MEN 等によるトークイベント ○啓発物品の配布	JR タワーズガーデン

(出発式：愛知県庁)



(キャンペーン：中日ビル)

(キャンペーン：名古屋駅)



平成27年度少年の主張愛知県大会が開催されました

愛知県・愛知県教育委員会・一宮市・一宮市教育委員会・愛知県青少年育成県民会議・独立行政法人国立青少年教育振興機構が主催する「少年の主張愛知県大会」が、8月25日(火)に一宮市民会館で開催されました。

県内308校の中学校から、53,550名の応募があり、各地区から選ばれた中学生が日頃からの思いや自分の考えを堂々と力強く発表しました。

発表内容は、自分の生き方や家族、学校生活、現代社会や地域に関する問題などで、いずれも社会や世界、そして未来に向けて前向きな考え方をもち、行動しようとする意欲に溢れ、会場を埋めた聴衆から盛んな拍手がわき起こりました。

各賞の受賞者は右表のとおりですが、最優秀賞を受賞した林沙樹さん(豊橋市立南稜中学校3年)は、11月8日(日)に東京で行われる全国大会への出場が決定しました。

※「共感賞」は一宮市の中学生審査委員19名が最も共感できる作品を協議して選出しました。

種 別	題 名	受 賞 者
最優秀賞 (愛知県知事賞)	あなたの笑顔を見るために	豊橋市立南稜中学校 3年 林 沙樹
優秀賞 (愛知県議会議長賞)	僕の姉	豊田市立若園中学校 3年 平野 啓太
優秀賞 (一宮市長賞)	真の省エネとは	豊橋市立南部中学校 3年 仲川 晴斐
優秀賞 (愛知県教育委員会賞)	風化させない	名古屋市立一柳中学校 3年 山口 紘佳
優秀賞(愛知県青少年育成県民会議会長賞)	誇れる町知立へ	知立市立知立中学校 3年 中村 夏希
奨励賞(同上)	五度目の夏に	刈谷市立刈谷南中学校 3年 岡田 愛依
奨励賞(同上)	未来への一步	稲沢市立稲沢西中学校 3年 箱井 遥名
奨励賞(同上)	消える町、募る思い	豊田市立稲武中学校 3年 青木 円花
奨励賞(同上)	失敗を恐れず...	一宮市立葉栗中学校 3年 石黒 舞依
奨励賞(同上)	幸せの見つけ方	高浜市立南中学校 3年 黒木 美沙
奨励賞(同上)	おばあさんの「ありがとう」	春日井市立高蔵寺中学校 3年 高村 季紗
奨励賞(同上)	身近にひそむ人種差別	田原市立赤羽根中学校 3年 マクドナルド梨沙
奨励賞(同上)	感謝すること、伝えること	美浜町立河和中学校 3年 木下 由唯
奨励賞(同上)	「心」で伝える	蟹江町立蟹江中学校 3年 澤田 夏海
共感賞*	五度目の夏に	刈谷市立刈谷南中学校 3年 岡田 愛依



最優秀賞作品紹介

「あなたの笑顔を見るために」

豊橋市立南稜中学校 3年 林 沙樹

「素敵な演奏、ありがとうね。」

そのおばあちゃんは、目に溢れんばかりの涙をためて、私の手を両手でぎゅっと握ってくれました。しわくちゃで、か細い手だったけれど心の温かさが伝わり、私も目の上が熱くなりました。

ここは、昨年私が職場体験させて頂いた市内のデイサービスセンターです。教師になるのが夢である私は、小学校での体験を希望していました。しかしそれは叶わず、時々そこでボランティアをしている祖母に勧められるがままに決めたのが、このデイサービスセンターでした。正直、私はデイサービスセンターについてよく知らず、特に興味もなく、とにかく三日間そつなく過ごせばいい・・・そんな風に思っていたのです。

数日後、重い足取りで事前訪問に行くと、所長さんが笑顔で迎えてくれました。

「こんな地味な所によく来てくれたね。ありがとう。若い子がいるとみんなの刺激になるから沢山、沢山話しかけてあげてね。」

と言われました。私はドキッとして言葉を返すことができませんでした。私の消極的な気持ちに気づかれてしまったと思ったからです。

職場体験一日目。朝から目の回るような忙しさでした。利用者さん約三十人の熱を測り、その後お茶を出し、お昼には食事の準備をします。そのお茶の熱さから、好みの食事の硬さ、柔らかさまでスタッフの方は、正確に覚えていて私に教えてくれました。熱いお茶がいい人、冷たいお茶がいい人・・・本当に色々です。みんな同じではいけないということです。一人ひとりのことをちゃんと考え、その人に合ったサービスを提供すること。つまり、ここは誰もが自分の家にいる時と同じように安心してくつろげる場所であること。それが何より大切なんだなと思いました。それには、利用者の方が今何を求めているのか、自分から気づき、考え、動くことが必要だと感じました。

私にできるサービス、それは何だろう。気づけば私はそんなことを考えていました。そして出た答えは、ここに初めて来た時所長さんに言われた「話をすること」です。そこで、いつも誰とも交わらず、一人でポツンと車椅子に座っているひろこさんにそっと近づいてみました。ひろこさんは、目も耳も不自由で言葉も上手く出てきません。私がお茶を出しながら話しかけても無表情でした。そんなひろこさんに何かしてあげたいという気持ちがこの時私の胸に初めて込み上げてきたのです。

家に帰り、自分の目にタオルで目隠しをし、耳に耳栓をして一人で椅子に座ってみました。当然のことですが、真っ暗です。かすかに人の声、車の音が聞こえてきます。こんな感じの世界にひろこさんは、たった一人で住んでいるんだなと思いました。この静かなひろこさんの世界に私の思いはどうしたら届くのだろう・・・

職場体験最終日。私は部活で吹いているフルートを持ちセンターに行きました。「ふるさと」、この曲は、私の祖母が大好きな曲です。この曲をひろこさんや他の方に聴いてもらいたかったのです。演奏が終わるとみんな私を見て、一斉に拍手をしてくれました。目に涙を一杯ためてお礼を言ってくれるお婆ちゃん、不自由な手で何度も何度も手を叩いてくれるお爺ちゃん。そして、遠くに優しく微笑むひろこさんがいたのです。今まで見たこともない表情で真っ直ぐ私を見ていました。

ひろこさん、届きましたか？私の曲・・・私の思い・・・どうか、これからもそんな顔を時々私に見せて下さい・・・私はあなたのその顔が大好きだから・・・

あなたの笑顔が見たい・・・という気持ちから私は初めてここで自分には何ができるのかを考えました。体が不自由になっても、認知症になっても、その人がいつも笑顔でいられるように温かい心で温かい手を差し伸べられる・・・そんな大人になりたいと、私は強く思いました。

新会員団体の活動を紹介します

□ 非行少年を見捨てない～「一緒に」社会の中で居場所を作りたい～ □

特定非営利活動法人 全国こども福祉センター 学生スタッフ 久野 祐司
亀山 未果

名古屋駅には夜遅くまでたむろしている子どもの姿が見られます。中には成人とは見られないような姿をした子が飲酒や喫煙をしていることもあります。そんな状況の中、それを注意する大人は誰もいなく、通り過ぎるだけで声をかけることはしません。

近年少子高齢化が叫ばれる一方で、少年少女の非行は後を絶ちません。虐待や貧困が連鎖し、「支援」が行き届かず、制度の狭間で彷徨っている子どもたちがいます。虐待やいじめなど様々な問題を抱え、助けを求められず、頼る場所が分からず、そこにいる子がいます。

全国こども福祉センターでは、そういった子を発見し、仲間になるという活動をしています。街頭での声掛け、街頭パトロールを行い、問題を抱える子どもたちを発見し、安心できる居場所を提供することで社会参加の方法を共に学び、最終的には支援する側になってもらう、という流れで活動を進めています。「居場所のないこどもへ安心できる居場所を提供し、社会参画の後押しをする」という理念のもとに活動しています。

街頭パトロールでは、「着ぐるみ」を活用し、同世代の学生メンバーが前線に立つことで、相談へのハードルを低くしています。そして街頭パトロールを通じて出会った子どもたちに「非行」やJKビジネス・売春に代わる新しい居場所を提供すべく、バドミントンやフットサルといったスポーツを通じた居場所づくり活動を行っています。徐々にその子との関係性をつくり、最終的には活動を一緒に進めていきます。このように、「支援される側」から「支援する側」へという流れを、「街頭」から「居場所」へ、「居場所」から「ボランティア」へと誘導することでつくっています。さらに、それを彼らと同世代の学生メンバーが担うことで、大人がするより効果的な活動になります。



また、地域に根ざした支援者を養成する研修として、全国で初めてアウトリーチ（直接接触型）研修を行っています。アウトリーチ（直接接触型）は、地域を拠点とするソーシャルワークで、非行や少年犯罪の予防だけでなく、虐待の早期発見にも有効なスキルであると言われています。日本において青少年にアウトリーチする団体はすごく限られています。

アウトリーチに限らず、青少年問題に取り組む団体は少なく、まだ手つかずの分野です。わたしたちは日々彼らと同じ視点に立ち、青少年問題に取り組んでいます。

第46回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等の表彰受賞者名簿

日頃の青少年活動及び青少年の育成指導活動の功績が認められ、次の方々が、平成27年6月2日に県民会議の総会で表彰されました。おめでとうございます。一層のご活躍を期待します。

◆ 個人の部（青少年）

氏名	住所	所属団体
坂 知也	東海市	和太鼓「嚶鳴座」

◆ 個人の部（青少年育成者）

氏名	住所	所属団体
飯田 数義	蟹江町	中日こども会
荻谷 有朗	江南市	日本ボーイスカウト愛知連盟 江南第3団
斉藤 茂美	豊田市	日本ボーイスカウト愛知連盟
佐藤 裕子	春日井市	春日井市子ども会育成連絡協議会
田中 和裕	安城市	安城市子ども会育成連絡協議会
塚本 隆敏	みよし市	愛知県子ども会連絡協議会
中川 淳子	名古屋市 瑞穂区	ガールスカウト愛知県第4団
成瀬眞佐子	岡崎市	ガールスカウト愛知県第13団 愛知県青少年育成アドバイザー 連絡協議会
山本 達夫	田原市	田原市青少年健全育成推進協議会

◆ 団体の部（青少年団体）

団体名	所在地
ガールスカウト愛知県第73団	武豊町
至学館高等学校ダンス部	名古屋市東区
常滑市ジュニア吹奏楽団	常滑市
名古屋市立日比野中学校 BOND隊	名古屋市熱田区
日本ボーイスカウト愛知連盟半田第3団	半田市
フレンドシップ あつまれ わんぱく隊	春日井市

◆ 団体の部（青少年育成団体）

団体名	所在地
一色コスモスサポート学習の会	小牧市
尾張旭交通安全女性クラブ	名古屋市守山区
形原学区青少年健全育成協議会	蒲郡市
中川区少年補導委員会	名古屋市中川区
名古屋市立伝馬小学校 PTA	名古屋南区

「保護者のための体験!体感!スマホ教室」を実施しています。

携帯電話やスマートフォンが急速に普及し、子どもたちがインターネットを介した犯罪や被害に巻き込まれる事案が後を絶たない中、まずは、大人がスマートフォン等に対する知識や理解を深め、保護者としての責任を持つことが大切です。

そこで、愛知県では、実際にスマートフォンに触れて、危険性を認識するとともに、正しい使い方などを習得していただく講師出張型の教室を平成28年2月まで随時開催しています。

○教室の概要

小中高等学校等の生徒の保護者やその他（地域の集いなど）を対象に1教室あたり2時間以内、30人程度で、学校の教室、地区の公民館などへ県の委託事業者から3名の講師を派遣し、実際にスマートフォンを使って子どもたちが日常どんなことをしているか、LINEを使いたいじめはどんなものか、どうしてスマートフォンを使って性的被害に遭ってしまうのかなど、実際にあった事例を擬似的に体験することで、知識や理解を養い、子どもたちを犯罪・被害から守る手段を習得します。

費用は不要で、携帯電話、スマートフォン等を不得手と感じている方にも配慮した内容となっています。

○申込先

縁エキスパート株式会社（愛知県委託事業者） 電話 052 - 858 - 3111



「青少年によい本をすすめる県民運動」読書感想文を募集中です

平成27年10月1日から1か月間、「育てよう 豊かな心 読書から」のスローガンのもとに、愛知県と愛知県青少年育成県民会議の主催により「青少年によい本をすすめる県民運動」強調月間を展開しています。この運動では、はがきによる読書感想文を募集し、選考の上、愛知県書店商業組合から児童図書または全国共通図書カードが贈られます。運動期間中に次のすすめる本を読み、ふるって応募してください。

- 応募方法 はがき（または同じ大きさの紙）の裏に本の題名と感想を書き、応募してください。なお、表面には住所・氏名のほか学校名・学年（又は職業・年齢）をお書きください。
- 応募先 〒460-8501（住所不要）愛知県庁内
愛知県青少年育成県民会議事務局
「読書感想文」係
- 締 切 11月5日（木）（必着）

読書感想文募集図書一覧

作品名	著者名	出版社	価格
幼児向			
いちばんでんしゃのうんでんし	たけむらせんじ	福音館書店	¥1,300
どこにいるかわかるかな?	ブリッタ・テッケントラップ	ポプラ社	¥1,300
くろくまくんトイレでち〜! わくわくくろくま	たかいよしかず	くもん出版	¥800
小学校低学年向			
はじめてのギリシア神話	尾高 薫	徳間書店	¥1,300
あれあれ?そっくり!	今森 光彦	ブロンズ新社	¥1,300
だじゃれどうぶつえん	中川ひろたか	絵本館	¥ 800

小学校中学年向

ジェドおじさんとはとこやさん	マーガリー・キング・ミッチェル	汐文社	¥1,600
みんな知りたい! ドクターイエローのひみつ	飯田 守	講談社	¥1,200
おばけやさん1 これがおばけやさんのしごとです	おかべ りか	偕成社	¥1,000

小学校高学年向

ゾフィーのやさいばたけ	ゲルダ・ミュラー	BL出版	¥1,700
東京大空襲を忘れない	瀧井 宏臣	講談社	¥1,200
ともだち	谷川 俊太郎	玉川大学出版部	¥1,200

中学生・高校生向

六千人の命を救え! 外交官・杉原千畝	白石 仁章	PHP研究所	¥1,400
伝説のエンドーくん	まはら 三桃	小学館	¥1400

青年向

ハケンアニメ!	辻村 深月	マガジンハウス	¥1,600
おとなの教養	池上 彰	NHK出版	¥ 780

11月は子ども・若者育成支援県民運動の強調月間です

今日、子ども・若者をめぐっては、少年非行、いじめや児童虐待、危険ドラッグ、違法・有害な情報の氾濫など、問題が山積する一方、ひきこもり、ニートなど社会的自立の遅れも深刻化しています。この機会に、子ども・若者を取り巻く環境を、大人自身が再度見直し、子ども・若者を地域全体で育成し、自立を促すための支援のネットワークの輪を広げていきましょう。

- ★ スローガン 「育てよう 自分に勝てる子 負けない子」
- ★ 内 容 広報啓発活動、パトロール活動、大会・シンポジウム・研修会の開催等

編 集 後 記

6月2日、県民会議総会で「第46回愛知県青少年育成県民会議青少年団体表彰」が行われました。また、8月25日には少年の主張愛知県大会が行われ、各地区から選ばれた生徒の真剣に発表する姿に新鮮な感動を覚えました。皆さんのこれからのご活躍を期待します。